熱河問題に對し滿洲國三原則決定
長城をもつて國境となし絶體侵害を許さず

山海關事件に關し日本政府が事件不擴大、地方的處理の靜觀的態度を以て臨み居るに對し支那側は寧ろ此れを利用して反滿の空氣を喚起せんとしてゐる即ち張學良は正規軍を滿洲國領域たる熱河省境に續々集中せしめ一部は既に省内に侵入密かに滿洲國の攪亂を企圖しつゝある事實あり右に關し滿洲國政府に於ては左の見地に基き對熱河問題の處置をなすべく三大原則による方針を決定した

一、滿洲國は長城を以つて境とする其領域内に於ける主權を絶對的に主張するもので新國家の獨立を脅威する支那側の侵害行爲に對してあくまで之が除去に努める

一、新國家の獨立性を侵害する行爲の排除に對しては政府は東洋平和のためさきに締結したる日本政府との議定書に基き日本と協力するものである

一、張學良派の新國家に對する反滿行動は一は學良の國内的面子及び南京政府との懸引の問題からで他は聯盟を控へ世界の輿論攪亂を目的とするものなることは明らかで滿洲國政府としては事の眞相を洞察し極力靜觀的態度の維持につとめてゐる然し苟しくも獨立に對する支那側の事實上の侵害に對しては斷然措置を講ずるものである

從つて滿洲國側に於ては問題の惡化其の他責任に關しては既に叙上の三大原則を明示したる以上問題は支那側の態度如何によつて分れるとの觀測を下してゐる

遼中方面で決戰
學良正規軍の豪語

〔山海關八日國通今村特派員發〕綏中遼西方面を牽制の目的を以て熱河に進入した學良直屬の第十九旅は目下北章營子一帶に第三十旅は乾溝鎭附近に、第十六旅は双山子一帶にあり土人の言によれば上官は更に前進すべく命令して居るが兵卒連は何れも前日の日本軍飛行機の爆撃に出鼻を挫がれ士氣頓に沮喪し民家内の宿營を危險視し住民を強制徴發して穴倉を構築しその中に潛り込んでゐる、これが爲め住民の多くは避難の傾向あるに對し指揮官は

「決して當地方で日本軍が防禦するのでなく進出して日本軍と決戰するのみだから安心せよ」

と豪語し土人を道案内として偵察しつつある

一方熱河軍の總指揮には戰翼翹を任命し、湯玉麟は副指揮に任命した、熱河は軍の總勢力は湯の直屬、馮軍、僞勇軍雜色軍を加へ十三萬と號してゐる、南京政府も張學良を後援する爲軍費五十萬元を送り兵器彈藥其他某國より購入した飛行機も所要により送ると云つてゐる

我國の行動 正當
列國武官も認む

〔山海關八日發國通〕當地我警備隊は七日山海關駐在の英米佛各國武官に事件の原因經過を説明することとなり落合守備隊長は事件の發生原因を詳細に説明し鈴木〇團長は事件の經過、今後の日本軍の態度を闡明したが、右各國武官は事件當時山海關に居住せる者にして事件が支那軍の挑戰に端を發してゐる實情は認めてゐるので、我軍の行動は極めて正當であると見てゐる

地方的解決の
交渉對手は何柱國だ
落合隊長事件を語る

〔山海關七日發國通〕事件に直面せる山海關守備隊長落合少佐は語る

「當然起るべき事件の解決交渉は天津軍で取るか若くは關東軍でやるか目下指示を仰いでゐる、交渉對手も學良か何柱國かは判つきり申上げられない、事件を地方的に解決するならば無論何柱國を對手とすべきだ今度の事件は全く突發的で、當時我々も處置に困つた位だ何柱國が山海關に居さへすれば事件をこんなに擴大せずに濟んだし又に血塗らずして、支那軍を石河の線迄後退させ得る自信を持つてゐた、然し事茲に至つた以上 皇軍の威武を失せぬ爲に強硬なる態度をとらねばならない事は勿論である、何れにしても今回の戰鬪での日本軍の働きは實に目ざましかつた」

皇軍の恩威洽く
王道政治の光
石河以東地區に滿洲國參加の氣運著し

〔山海關國通今村特派員發〕錦州より來關した宣傳員宣撫員一行は六日より山海關城内各所に於て路傍演説を爲し人心の安定に努め滿洲國の實体を宣傳しつゝある、城内には六日楊潤霖を委員長とする山海關地方治安維持委員會が組織され我軍憲との連絡の下に治安維持行政機關復活に努力し羅災者には施米其他の救濟方法を講じつゝある、今や皇軍の恩威と滿洲國の王道政治は石河地方に浸潤して早くも山海關以西石河以東の地區に獨立國建國の形勢乃至は滿洲國に加入の氣運が著しく濃厚に動きつゝある

英國からの 妥協提示説
我が外務省否認す

〔東京七日發國通〕英國大使リンドレー氏が四日内田外相を訪問して日支事件解決の聯盟各國議案に關する妥協條件を提示したとの壽府方面の風説に關し外務當局は左の通り否定す

リンドレー氏は第一、第二決議案と理由書に關し言及し、休會明け十九ケ國委員會再開の際は能ふる限り讓歩態度で臨まれたいと政治的見地から勸誘したがその内容には全然觸れなかつたし、傳ふるが如き提案を英國が再提議しやうとは目下のところ期待出來ぬと

丁超遂に屈し正式歸順申込
飯塚支隊長を通じ 廣瀨〇團長の手許に

豐清に蟠居して居た丁超は豫て歸順の意を有つてゐたが皇軍の東鐵東部線大討伐を機に二日代表を夾心子に派し五日飯塚支隊長を經て廣瀨〇團長に正式に歸順を申し出たこれがため廣瀨〇團長は飛行機を寶清に飛ばせ空中から丁超軍に對し暫く現駐地に在つて誠意を示し日本軍の何分の命令を待つと同時に有力なる代表を派して歸順の正式交渉を開始せよと勸告した

王德林部下 歸順の噂

王德林はなほ東寧にあるも琿春を環り逃走すべしとの噂高く部下の一部に歸順の意志ありとの事であるが信じ難い

竹本支隊 ポグラ進入

竹本支隊は刃に血ぬらずして九日ポグラ進入し關司令以下二千五百の兵員の武裝を解除した、鹵獲した兵器の主なるものは山砲四門、迫擊砲二門、機關銃、小銃一千三百三十八である、ポグラの市内は極めて平穩にして清鄕委員一行も七日の鋼到着する豫定ア

東部露滿國境に理想鄕
白系が獨立國を計畫

〔奉天八日發國通〕滿洲國成立以來白系露人の入滿する者相次いでゐるが白系露人は滿洲國に理想鄕を建設せんとしボノット教大僧正は過般來新京にて武藤大使と會見し諒解を求めたが六日奉天出發東京に向つた、彼等の意圖は東部

吉津副領事歸任

滿洲國在ブラゴエシチエンスク副領事吉津滿氏は、任地より賜暇歸朝中なりしが、本八日新京發「はと」にて朝鮮經由敦賀、浦鹽、を經て任地に向つた

人事往來

▲藤田語郎氏(天津病院長)七日午前九時三十分ハルピンへ
▲葆康氏(民政部次長)七日午後三時三十五分來京
▲山内中將(滿鐵顧問)七日午

年頭所感
交通部總長 丁鑑修

滿洲の建國時に一年ならんとす茲に大同二年庶政更新の明に當り吾人馬齡を加ふれど未た建設の見るへきものなく感慨に堪へさる所なり

思ふに滿洲は東亞の寶庫にして數百年來之れが埋藏を發かす却て人民をして困窮に陷れ匪賊を蜂起せしめたるは其故奈邊にあるか實に軍閥時代其の苛斂誅求を事とし或は兵を構ふるに專念し交通政策等には毫も顧慮を拂はさりしに因るものなり

夫れ增兵と討匪は焦眉の急なりと雖根本は固より交通にあり若し交通々信にして全國に普及せは用兵轉戰の迅速を期せらるへく匪賊の橫行を虞るゝの要あらさるなり

理財の道に至りては固より資源の開發にあり若し交通の整はさるに於ては輸送に術なく徒に物資を堆積せしめ延いては空しく腐朽に至らしむのみ況や文明の疏通、知識の增進商工業の發達等數んを交通の程度に依り左右せられさるものあらんや

予此職を忝うし交通の刷新を以て我か任とし專念事に從はんとするものなり邦人君子冀くは敎示を賜はり度然らは余の欣幸己まさる所なり

秦皇島避難婦女子
本朝大連に着く

〔大連八日發國通〕山海關事件發生で秦皇島居留邦人婦女子五十七名は渡邊慶三郎氏引率し七日午後二時秦皇島發長平丸で八日午前八時着連し市役所民政署の世話で全部海務協會内に收容された、平常狀態に返へるまで當分滯在の筈で市役所にて萬端の世話をしてゐる尚ほ避難民は内地人二十四名、鮮人三十三名内子供九名であるが渡邊氏は左の如く語る

領事館を通じこちらへ厄介をかけます、秦皇島には軍艦平戸入港し居留民も安心してゐます、婦女子を預ければ後は大丈夫です云々

武富參事官赴任

〔東京八日發國通〕新任米國大使館參事官武富敏彦氏は十九日午後三時横濱發淺間丸で赴任の筈である

密山支隊奮戰す

密山支隊は五日午前八時頃道溝、老爺嶺を出發午前九時東北方地區の敵を擊退し小銃約五十、多數の彈藥を鹵獲した敵は救國軍第四旅歩騎兵で午後十時頃石頭河子南方で再び支隊前衛に追急擊破せられ、石頭河子に居た敵と共に夾心子方面に退却した、支隊の進路は積雪深く且つ路面險惡にして到る處補修工事を必要としたが、將兵の士氣旺盛で急進に急進を重ね敵をして部隊を整理するの余裕を與へず、六日午前二時石頭河子に侵入し大休止をなしたるのみにて直に出發、午前十一時には早くも夾心子を占領し引續山に向ひ前進中である、街道は良道であるから夕[illegible]は同地に到着した筈である、飛行機の偵察によれば密街は靜肅で死せるものゝ敵兵は勿論住民の姿もな[illegible]ある、ソ聯との關係も頗る圓滿で皇軍歡迎の聲を到る處で聞く

敗殘兵六百
突如滿鐵本線を襲ふ

〔奉天八日發國通〕昨七日午後九時半頃滿鐵本線十山驛附近の皇泉屯王全一の敗殘兵約六百蜂起し附近の民家を掠奪放火し沿線に出る形勢があるので海城よりは直ちに裝甲列車出動して一時間に亘り交戰之を擊退したが、敵の損害はなほ不明である

尙同時刻に遼陽に數十名の匪賊潛入し元〇〇隊空屋に放火したが直ちに我軍憲出動し消止め之を擊退した然して嚴重なる警備の目をかすめ我討伐により自棄的となれる敗殘兵の計畫的所爲と見られてゐる

駐日露大使 後任內定

〔東京八日發國通〕駐日大使トロヤノフスキー氏月十三日歸國するので其後任に就て露國政府では現オトリー公使ユレチフ氏を任するに內定し我政府にアグレマンを求めて來たが我政府も異議は無いので近く應諾し正式決定の筈である

陸軍始觀兵式
陛下親臨下に擧行

〔東京八日發國通〕皇軍の威容を誇る、陸軍始觀兵式の御儀は八日代々木練兵場で 大元帥陛下の臨御を仰ぎ嚴かに擧行された、晴れの觀兵式に參加する在京近衛、第一、兩師團管下の精鋭九千七百餘は早曉より式場に參加午前九時には軍樂隊を最右端に歩丁、電信、野戰重砲、砲、騎、輜重兵の順序で全く整列を終る、この日 陛下には陸軍儀式御略裝に功一級金鵄勳章御佩用四頭立の儀裝馬車に乘御、奈良武官長御陪乘、一木宮相、鈴木侍從長供奉申上げ午前九時二十分宮城御出門十時五分式場に着御玉座に着かせられた、斯くて木原諸兵指揮官の號令一下莊嚴なる觀兵式は開始される 陛下には御愛馬白雪に召され侍從武官の御先導で式場を御一巡親しく諸兵を御閲兵遊ばされた、次いで十時二十分より分列式に移り軍樂隊の奏する觀兵式行進曲裡に隊伍堂々展開する分列行進を玉座の御前に凜然と駒を立たせられて閲はせられた、この時爆音勇ましく飛來した所澤、下志津兩飛行學校長廣瀨中將指揮の立川飛行第五聯隊、所澤飛行學校所屬の五十七機は銀翼を輝かせて式場南方上空より空の大分列式を行ひ盛觀を極めた、斯くて十一時十分分列式を終り 陛下には同十五分式場御發輦龍顏麗はしく宮城に還御遊ばされた

學良積極的に戰備を愈よ進む

張學良は山海關事變を動機として日本軍が河北省を攻兵するものと判斷し兵を大体に於て三線に配備して徹底的に反抗する舊戰備に汲々としてゐる、何柱國を前敵總指揮に任命第一線に備へ、萬福麟を第二線第三線に、商震を用ふる

多門將軍凱旋
宮城參內後[illegible]

中佐參謀總長宮御代拜眞崎次長、軍令部長宮御代理濱中佐荒木陸相、奈良侍從武官長、陸相等に

今年最初の

日頃から滿鐵病院に入院中[illegible]許可で三病棟から六病棟に移り情夫カフェー[illegible]

世界經濟の動向と(三)
鮮滿財界の前途
朝鮮銀行總裁 加藤敬三郎

斯く觀し來れば我國の財界は最近確に好轉し來れるか如くなるも、全國組合銀行の貸出は昨年十一月末に於て後年同期に比し却て一億二千萬圓の減を示し生産方面か尙充分資金需要を喚起し居らさることを推知せられ、而も最近本邦財界の急激なる好轉傾向は海外に於ける經濟界の歸嚮を超越せる人爲的政策に基き、從つて既に他の諸國に於て替低落國に對する諸種の對策か講せられつゝある矢先、何時迄も之にのみ依存し晏如たり得るか、更に前途に不安を宿す如き財政か果して時局を匡救する所以てあるか、我國は、通貨の安定と財政の均衡を得ることか主眼なると同時に、深く我國の立場を省察し世界經濟の情勢に應しつゝ尙進んで有效適切なる經濟政策の實施を要する次第てあつて、監督管理を斷行するか如きは其の一具現てあらねはならぬ

四

朝鮮の一般經濟界は内外の趨勢に應じ、昨年上半期末迄は其大勢尙不況裡にあつたか、其後爲替關係により物價漸騰し證券界も近年になき上騰振を示し、一方滿洲國の安定に因つて商動稍活潑に赴きたる結果、最近少しく好轉の兆を呈し從て昨年一月より十一月迄の朝鮮貿易は輸移出か二億六千萬圓で前年同期に比し三千萬圓を增加し、輸移入は二億八千八百萬圓で是亦前年より四千三百萬圓の增加を示し、殊に對滿貿易の昨年七月以來急激なる增進を告けつゝあるは注目すへき現象にして、滿洲と朝鮮との交渉は各方面共益密接の度を加へ來つた。而して朝鮮は近年農業經濟より商工經濟への轉向顯著となりつゝあるか此後北鮮の開拓、滿洲國の發達見越等により朝鮮商工界は一段の進展を告くへく、從て鮮滿經濟の相依存する所を明瞭ならしめ、之か統制の具體化を企圖すへきは刻下の緊急事てあらう。滿洲の經濟界は内外の大勢につれて不況なから、一昨年の滿洲事變以來事態は全く一變し來つてゐる。殊に新興の滿洲國は三月中に其の成立を告け各般の建設的事業着々其の緒につき、滿洲中央銀行の如きも設立せられ財政經濟の根本たる幣制の統一を見んとし、一方全滿の治安も大體恢復されて來た。而して從來浦鹽方面に集中されてゐたか北滿の特産物は、近頃大連港に蝟集されると同時に、斯界は最近一段の活況を呈し、他面銀價の反撥により一般の購買力を增加しつゝある結果、貿易は近年殊の外好轉しつゝある。試に本邦對滿洲貿易の昨年一月より十一月迄の統計を徴すれは、輸出は一億二千萬圓の激增を見、輸入は一千二百萬圓となり前年に比し六百九十萬圓を減し、現在我國は滿洲に對して出超となりつゝあるも、此後彼我の經濟統制か理想的に實現されは、其の間適當に均衡を得るに至ると共に、實質的に兩國の生活の安定と福祉の增進を招來することと思はれるか、新滿蒙は尙建國匆々にして其の前途は甚た多端である。此際我國は宜しく擧國一致其の堅實なる發達を期待すべきである。而も我國は單に滿洲國のみを見て、支那全體を忘れる譯にはゆかす、東亞の大局の上に立ち飽迄日滿支の善隣關係を樹立するの必要がある。然るに昨年の上海事變後日支兩國の間には夙に和平恢復の協定成立しつゝあるに拘らず、支那側は陰に排日の行動を續け、爲に我國の對支貿易が依然として非常な激減を示しつゝあるは洵に遺憾とする所である。此際我國としては從來の日支關係を何等かの方法に依つて

酉年名士(2)

牧野伸顯伯

右大臣大久保利通公の二男、文久元年生れの七十三歲、宮内大臣に任ぜられ現内大臣の重職を拜す、圍碁を好み日本棋院の總裁である、

宮城遙拜後御參内へ

【東京八日發國通】多門將軍は師團司令部野砲第二聯隊第四中隊の〇〇名と昨七日午後八時二十分品川驛着、晴の凱旋をした、夜空晴れて熱狂的な歡迎振で秩父宮御代理岡田[illegible]關屋宮内次官、各參謀官、本庄中將、鮎澤氏等歡迎者多數で身動き出來ず。多門中將は宮城遙拜後宮家代理や荒木[illegible]

藝妓の駈落ち

昭和八年の駈落ちのトップが早くも切られたと云ふ話！新京日本橋、松島樓抱へ藝妓妻奴事白井君江は昨年十一月廿[illegible]を常として居たが、昨七日退院豫定の處、午前九時病院を拔け出した儘行方をく[illegible]ル箱の一つに逃げられては堪らぬと血眼になつて探し廻つたが、行方は杳として分らぬ[illegible]で飲酒して居たが其後の足取りは不明である、情夫田口某は女と豫め謀し合せて落ち[illegible]込んだものと思はれる

泉廉治事件益々擴大
今江、原田の兩氏大連で證據調べ
續々共犯者檢擧されん

前新京日報編輯長泉廉治の詐欺私印私文書僞造事件は益々擴大し、同氏に關聯した前新京地方事務所土地係主任戸板達志は舊臘十二月二十八日栗原總領事の拘引狀により總領事館監獄に收容され、今江檢事々務取扱の手で嚴重取調を續けられてゐるが、今江檢事々務取扱は五日夕突如原田書記生を伴ひ極秘裡に大連に出張し滿鐵本社土地係で證據書類を調査し、八日午前八時歸京し、泉、戸板につき取調を續行戸板と共に土地係を巡つて共犯者を續々檢擧するに至る模樣である

今年の景氣は汽車に乘つて
新京の活況を如實に示す
素晴しい新京驛の客

建國第一回の新年を迎へて滿洲國の首都新京には何れの方面にも潑溂たる活況を見せてゐるが、新京の表玄關新京驛は大晦日夜から六日迄の丸六日間の乘降受發客貨の統計は左の如き驚くべき數を示してゐる

△乘降旅客
乘車　一九、九[illegible]人
昨年同期比較增　九、一〇七人
降車　一五、五二一人
昨年同期比較增　四、一八八人

△小荷物受發
昨年同期比較增　一八六　五四〇個

△荷物受發
到着（昨年同期比較增）　四〇　〇〇〇噸
發送（同）　九六　二四一噸

△旅客收入
旅客收入は　三二六、六〇四圓
△荷物收入
荷物收入は　一六四、八五五圓
合計收入　二二〇四　四五九圓

の多額に上り、本期間最高收入を見たのは五日で一日實に十九萬圓と云ふ素晴しさで、驛當局も今更ら乍ら新京の景氣に吃驚して居る

此頃日頃の新京人の懷工合
歲末大賣出しに反映

新京輸入組合加盟店の歲末大賣出しは盛況を以つて行はれ其の結果は大いに期待されて居たが、此程締切りの結果前年の歲末賣上高三萬五千圓余に對し約六倍の二十一萬余圓に達し、新京人此頃、日頃の懷工合を明かに物語つてゐる

日滿語學研究に拓大乘出す

日滿關係の緊密の度が加はるにつれ、語學を通じての兩國民接近の欲求は各所に日滿語の私塾講習所が簇生せしめるといふ喜ばしい現象を見せ乍らも其中には相當內容のインチキなものもあつたが、今回此等を統制する目的を以て拓大經營の下に新京日出町六丁目二番地に講習所が設けられ一月七日その開校式が行はれた、行く〳〵は當地の事情にぴつたり適する拓大經營下の專門學校が設立せられる筈であるが、その準備過程として同講習所は拓大卒業生の研究室を備へ滿洲事情及び語學研究を志せる少壯學徒市川所長以下八名を講師とし約十名を一組として殆んど個人教授に近き熱意を以つて指導するから地理不便なる現在の假校舍に朝晝晩の三回に亘つて詰めかける者既に百人、その中を占める高等小學卒業程度官吏志望の滿洲國青年の如き驚く可き短時日の中に流暢な日本語をあやつり得るに至る事が過去二ヶ月の準備時代を通して經驗されたとの事である新春新校舍の完成と共に本校の文化的使命は眞に有意義なものとなるであらう

四平街の出初式

【四平街支局發】恒例に依る四平街消防隊出初式は六日午前十時より市內行進に始り各所に於て梯子乘の妙技を演じ觀衆をアツといはせ午後二時隊前廣場に於て監督官爵島署長の人員點呼器具の點檢訓示あり模擬火災消火演習に移り後講評を以つて滯り付し終了した

四平街の躍進

【四平街支局發】グレート四平街を目指してぐん〳〵と伸びて行く市街の膨脹と共に人口も年々異狀な增加を示して居る、昨年四月より新興滿洲國に輝かしく生聲を擧げた勇敢なる孃ちやん坊ちやん達が百五十三名又歸國を後に最後まで海外に踏留り滿洲國の土と成つた人々が五十三名あつた

今年最初のルンペン
新京署へ賴る

八日午前十時頃年の頃二十七八才位の青年が新京署を訪れ齋藤保安主任に面會を求め平身低頭就職の斡旋方を懇願してゐた、本年最初のルンペンがあつた、右は金田義雄（二八）＝假名で七日東京から當地の某朝鮮人を賴つて來京したがあまり裕福でない爲就職は勿論、生活の援助等思ひもよらぬ狀態にある爲施すべもなく思ひ餘つた末窮餘の一策として新京署へ泣きついて來たもので、齋藤主任から簡易宿泊所の斡旋を得一先づ落着く事として引さがつたが東京にゐる金田の友人連多數も新京行を希望してゐるさうであるから今後の保安係は多種多樣なルンペン群の襲來に惱まされる事であらう

四平街訓練所開所期

【四平街支局發】舊年來より休所中であつた四平街青年訓練所は來る十七日より訓練を開始する

お手傳ひの郵便局員歸る
文字通り目の廻るやうに忙しかつた新京局

年末からの年賀狀の洪水で大多忙を極めてゐた新京郵便局も最近は稍々閑靜となりホツト一息の態であるが、それでも未だ遲れ馳せながら差出される年賀狀も相當の數に上つてゐるが、去る二十日年賀郵便として特別取扱を開始して以來六日迄で一番多し取扱つたのは配達十一萬六千五百四十通の三日と、受付け五萬一千二百六十通の二日で、なほ六日の取扱數は配達七萬七千八百二十通、受付け四萬五千二百六十五通に減少してゐる、之れ等年賀狀の處理に沒頭してゐた從業員も今後は從來の樣な多人數は不必要の爲四十五名の應援事務員の中二十五名は七日午後十時發の列車で歸連のこり二十名は今後一週間遲れて離京する豫定である

四平街戶外デー

【四平街支局發】二十二日の全滿戶外デーに當市では例年小學生のみの傾向があつたが這回は小學生を中心に全市民に亘つての戶外デーとする社會の意向である

陣中美談　南滿三角地帶（中）
平定の殊勳者
勇敢無比の木下兄弟

五百米位昇つてから木下中尉の顏色がずつと青くなつてゐる、それで敵前着陸の不可能を知つて歸る事にした山は高い高度が漸次上げて一路大石橋に向つた、寒さは強い飛行機は實に遲い、藤田大尉は傳聲管で「今から大石橋を經由して遼陽に著陸し入院する、遼陽には滿洲一の病院がある」木下中尉は相不變「いや大した事はありません」と答へたが聲は少さく顏色は漸次青くなつて眠つてる飛行機が遲くて仕方がない午後一時頃大石橋に着陸して、それから遼陽の飛行場に自動車で迎へに來る樣電話をかけて貰ふと思つたが滿洲人が三人居るだけだ日本人は居ないかとよく見ると小さい子供が二人居る呼んだら駈けて來たが餘りに小さい、話が分るかしら賴りなかつた「おい君は何年生れだ」うん今負傷した將校が此の飛行機に乘つてる、此れから遼陽に著陸するから、たれか飛行場に迎へに來る樣に電話をかけて呉れ僕の話が分るか賴む」「分ります」と云ふなり停車場の方向に走つて行つた、藤田大尉は飛行機に乘るや遼陽に向つて全速で飛んだ、木下中尉は次第に青くなつて行く、約三十分で遼陽の上空に達した飛行場には自動車も何も來て居らない矢張り子供は餘り小さかつたのかしらと思つた、然し街を見ると一臺の自動車が走つて居る、ほつとして着陸した、憲兵分隊長は「サイドカー」を飛ばして飛行機の側に來た露國の自動車も來て呉れた、然し木下中尉をかつぎ出して見ると座席はすつかり血の海になつてゐる、こんなに甚かつたかと思つた、木下中尉は覺悟したのであらう、[illegible]表の表に「天皇陛下萬歲、木下中尉」と[illegible]て眠つて居た、そして病院に到着した時は全く脈が止つて居た、此の狀態に感激した遼陽衛戍病院一等看護兵岩崎卯三郎、佐納勇次の兩名は各二百五十瓦の鮮血を捧げて輸血に供した九死に一生を得たのだ、今少し時間が遲かつたら駄目だつたらう、何しろ臀から大腿骨を骨折して左腿の上に貫けてから止血も何もせず一時間三十分も飛行して來たのだ血と云ふ血は皆出て仕舞つたのだ、木下中尉は含はめて快活な將校だ、始終「ニコニコ」して、どんな時でも弱音を吐かない自分の事は云はない困難な仕事は木下がやりますと云ひ出す圓滿な典型的武人だ士官學校時代から「木の香」と云へば有名な將校だ令兄木下中尉が一週間前に戰死した時でも滿洲に死に場所を得て滿足だらうと云つて居たそして常に好んで唱つた空軍の歌

北平棧の怪
首、裸体、ロートルの三通りのお化けが出る

理論ずくめの世の中に頗るグロな話がある、場所は東四條通り二十二番地の北平棧の三十三號室、毎夜丑三ツ刻の午前二時頃大きな首と、中肉中脊の裸体と鬚を生やしたロートルの通りの何れも滿洲人のおばけが出ると云ふ噂がパツト擴つた、最初の中は誰も氣がつかなかつたが十日ばかり前徹夜で麻雀をやつてゐるとよくおばけにつきものぞつとする汚寒に次いで音もなく現はれ、一つが消へると又一つと云ふ樣に連續的に出たとの事で、同室に宿泊してゐた七、八名の滿洲人は不を揃へて事實を訴へ荷物を纏めて奉天へ引揚げてしまつた、問題の室は同旅館中庭の中央に北向に建てられ、晝なほ暗い陰慘な室である

天然痘が流行
種痘を受けなさい
十六日から太子堂で臨時種痘を行ふ

最近市中到る處で天然痘患者の發生を見今後なほ蔓延の徵濃厚なので新京署衛生係ではこれが豫防の爲來る十六日から十八日迄三日間太子堂に於て每日午後一時から四時迄臨時種痘を行ふ事となつた、未だ種痘を受けぬ者（但し生後九十日未滿の者或は既往五ヶ年以內に種痘した事のない者又行つた種痘が不善感であつた者等）は一人漏れなく受けるやう、なほ檢痘は二十三日午後一時から三時迄太子堂に於て行ふと

數奇なる運命に弄るゝ曙の萬龍
家鴨のやうな生みの親から惜しくなつて保護願ひ沙汰

新京三笠町の料亭曙で左褄、艷名を馳せてゐる萬龍こと尾崎律子（二二）は、三重縣南牟婁郡に籍があり、台灣で育ち台南の料亭一筆方で千代香と名乘つてゐた處、去年新京に移り住み母親おくにさんは千鳥で仲居奉公、母娘仲よく暮してゐたところ、こうした機緣か、名古屋の新聞に、飛んでもない遠いところ「台南の名花千代香のゆくへ」云々といふみだしで、千代香が萬龍と名乘つて新京にゐることが載つたさうで、相當羽振りをきかしてゐるといふから因緣をつけたら幾らかモノになるとでも考へたのか、萬龍の生みの母親なるものから新京署へ宛てゝ保護願を送つて來たびつくりした母娘は其筋の召喚に應じ出頭して保護願などされゝやうな譯はないと仔細に申立て、お係りも納得引下つたが、おくにさんは藥の上から萬龍を貰ひ受け育てゝ來たもので、萬龍の四つの時に父親は死亡し女手一つで萬龍を育てあげ、年頃になつて、本人も望み、他からもすゝめられるので藝妓稼業をさせてゐるもの、母娘水入らずに今迄暮して來、第一萬龍はおくにさんを今迄眞實の母親と思つてゐたくらひであり、おくにさんは、自分の慾心から娘を藝者稼業をさせてゐるやうに思はれるのが心外だと云つて泣き、萬龍はたゞへ生みの親でも自分の腹をいためた子供をよそにくれるやうな親はたよりない、生みの親より育ての親が戀しくなつかしいとごんなことがあつても離れないと殊勝な心情に朋輩や抱主も感心してゐるとの事であるがこれも新京景氣が生みだした一つの話題であらうが數奇な運命ではある、其筋では前の通り萬龍親娘の陳述を聽き生みの親の保護願は却下したと

傳家屯驛全燒す

【四平街支局發】六日午前五時半頃四洮線傳家屯驛（四平街驛起點五一、五粁）待合室より出火し同驛を全燒した、原因はストーブの煙突破損から、人畜の被害なし損害不明

視察來滿者の爲
六臨時列車を運轉
滿鐵の乘客サービス

特產の都であつた長春も滿洲國の誕生によつて新京と改稱全權府、軍司令部其他重要機關の移轉、企業家、商家家等の投資、二百萬の人口を抱擁する目標の大都市

年中二回であつた臨時列車を六回に增加して來滿者のサービスに備へやうとしてゐる

＝計劃＝

等と夢にも想像した事のない劃期的な衣替をなし更にインフレ景氣に乘つて押寄せて來る人々「働くなら新京で」「投資するなら新京へ」とただ周圍の漠然たる滿洲熱にあぶられて來京果は警察、同縣人の厄介となつて抱き來た雄圖も空しく又元の古巢へ舞ひ戻り、何故に渡滿したのかさつぱりわからぬ無謀な連中が去年は相當の數にのほつてゐるこれでは王道樂土を目指す滿洲國も生きながらの地獄を現出する事となりこれではいけない、新京否滿洲に對する內地人一般の認識を深める必要があると云ふ事に

＝着眼＝

した滿鐵驛では各名地案內所では來るべき解氷期を待つて滿洲視察を敢行する意嚮で準備を整へてゐるが、早くも內地各所からの申込殺到し昨

立大生の講演會

【四平街支局發】沿線各地に奉仕的慰問の旅にある立教大學生永井寛雄君外四名の一行は八日來四平街地方事務所主催講演と映畫の會を催した

滿電のバス
着々擴張計畫

滿電新京支社では附屬地城內及び新首都を包含するバス網計畫を立てその第一期計畫として義に城內のバス權利を買收すると共に舊臘十五日から新京驛より日本橋通、大馬路を經て南嶺に至る幹線バス路を架設し既設の寬城子線及南嶺線と聯絡せしめてバス網整備の第一步を踏出したが、更に第二期計畫として本年三月より新京驛を起點として中央通り大經路から南嶺への幹線と城內の中央を横斷する四馬路の二新線を開設する事となり新バス車臺廿數輛を新造して面目を一新し新首都に恥かしからぬモダーンなバスを縱横に走らすべく目下準備中である、なほ同社では新國都建設の進捗と共に各幹線路バス網を擴大し附屬地城內並に新國都建設地を統一聯絡せしめバス網の完備を期してゐる

吉川姉妹舞踊會

【四平街支局發】既報地方事務所主催の荒川姉妹舞踊會は十一日當市滿鐵俱樂部に於て晝間は小學生に夜間は一般市民の觀覽に供する筈

藤本司法係勇退

【四平街支局發】備警察署司法係勤務藤本富雄氏は功成り名遂げて愈よ近く勇退することゝなつたが內外に信望弟きを氏のことゝて一般此の良警官の離任を惜んで居る、尙ほ氏の離四は二月初旬となるであらうと

佐藤家の不幸

長春洋火工廠佐藤精一氏令孃晴子さんは七日死去九日午後三時曙町大正寺で葬儀が執行される

藪の猪料理

市內三笠町の割烹店藪虎では今年もまた、長白山產の猪を取寄せ九日頃から猪料理を始めると、猪もあまり年を經た奴は肉が硬いが今年取寄せたのは若い猪でとり輸送途中凍結したのを自然融解を待つて庖丁を入れるさうであるが食道樂の連中は舌鼓を打つことであらう

懸賞

日滿兩國聯絡「空の旅」は昨秋輝かしいスタートを切りました。兩國の提携が今後益々緊密ならん事を冀う我々八千萬同胞は振つて應募しませう。

規定

一、下の十八種の廣告の左上隅には都市名が一つづゝ附いてゐます。東京から新京に至る此等十八の都市名を航空路に沿ふて順に列べ必ず其の下にその都市名のある廣告の商品名又は商店名を書き官製ハガキで應募して下さい

二、宛名は大阪市東區高麗橋五丁目株式會社萬年社懸賞係

三、締切　一月卅一日

四、發表　二月二十日

五、正解者多數の節は嚴正なる抽籤によつて左記の賞品を進呈致します。

賞品

- 一等　パーレットカメラ　一名
- 二等　クローム腕巻時計　二名
- 三等　セーラー萬年筆　五名

廣島

ふしあはせな奥樣方へ

子寶なく淋しく味氣なき御夫婦へたやすく子寶のえられる方法と永い間の歴史と事實の上に立證されたお藥の處方分量作り方などをくわしく敎へた本をこの新聞名記入二錢切手を一枚封入してお申込のお方に限りどなたにも無代送呈いたします

(此の新聞名必ず記入の事)

大阪市浪速區木津川町一丁目
神道木津川敎會
電話櫻川三〇七 振替大阪四五八八

株はどう動くか
調査資料に充ちたる
株式羅針報

顧客本位　信用第一　確實便宜

大阪株式取引所一般取引員
大阪北濱二丁目

昭和八年の株式大勢觀

新春の沸騰は反落の兆・株價の採算と事業株

景氣の鍵を握る爲替相場の前途

買時か賣時か 雜株類の研究

商機秘線

株式特電

市場情報社

京都

シャープペンシル付水晶認印

實印は僞造されぬ水晶印

山梨水晶株式會社